

「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業 地域づくりセミナー

日時：平成29年11月30日（木）14:00～16:55
会場：高岡市生涯学習センター5階 503（高岡駅から徒歩2分）

北陸地域づくり協会は、地域の自立と活性化を促進する目的で、地域に住む人々の多様な研究や活動を支援しています。

研究助成事業を活かし、活動を発展させているグループの報告から地域づくりのヒントを学び、また、現在直面している課題の解決策を参加者がいっしょに考え、地域づくりの専門家からアドバイスをいただく場を設けました。気軽にお立ち寄りください。

聴講者募集

まちに活気がないね

いろいろイベントをやっているのに…

他はどうしているのかな？

地域づくりセミナーへ行ってみようか

ヒントが見つかるかもしれないね

助成事業にも応募してみようよ！



金魚鉢会議(昨年12月開催 地域づくりセミナー)

第23回（平成30年度） 「北陸地域の活性化」に関する 研究助成事業の募集

●募集期間

平成29年12月1日（金）～
平成30年 2月1日（木）

●申請方法

ホームページから申請書をダウンロード
して応募（12月1日以降）

●ホームページ

<http://www2.hokurikutei.or.jp/>

○北陸地域

新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、
岐阜県飛騨地域、福島県会津・南会津地域
山形県置賜地域

■募集対象

「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業助成者および応募を検討されている方等 30名

■申込締切

団体名、所在地、申込者、連絡先、交流会出欠を記載し、11月22日（水）までに、E-mailでお申し込みください。定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

■参加費

活動報告・ディスカッションは無料
交流会 会費一人 2000円

申込み・問合せ：（一社）北陸地域づくり協会 企画部

TEL:025-381-1160 FAX:025-383-1205

E-mail:kasseika@hokurikutei.or.jp

新潟市江南区亀田工業団地二丁目3番4号(〒950-0197)

■プログラム

時間		内容	
13:30		開場・受付	
14:00	5分	開会・挨拶	
14:05	50分	活動報告	「まちづくりとデザインー高岡クラフト市場街から考えるー」 有田 行男【富山大学芸術学部准教授・高岡クラフト市場街副実行委員長】 1. 活動報告(40分) 2. 質疑応答(10分)
14:55	15分	(休憩)	
15:10	100分	ディスカッション	○テーマ「イベントをまちづくりにつなげ、活かすしくみづくり」(仮題) 1. 活動・問題点発表(15分) 窪野 達章【八尾スローアートショー実行委員会 事務局長】 2. 課題の整理・解決に向けて
16:50	5分	まとめ	進行: 森山 奈美氏【(株)御祓川代表取締役・審査委員】
17:15~18:45		交流会(90分)	



高岡クラフト市場街 2017

まち全体でクラフトを楽しめるイベント4つ
が同時期開催された



写真: ホームページから



八尾スローアートショー実行委員会



八尾の年間観光客の1/3は「風の盆」に訪れる。他は商店街への回遊が少なく、後継者が育たず、廃業が後を絶たない。かつて「蚕都」として栄えた町の地域資源を活かし、バリアフリーツアーを構築し、活性化につなげたいと模索中
写真右: 瑞龍寺でのバリアフリーツアー調査
写真左: 天蚕でつくったウエディングドレス

◆講師・報告者紹介

もりやま なみ 氏 (株)御祓川代表取締役、「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業審査委員

石川県七尾市在住。民間まちづくり会社、(株)御祓川の設立に携わり、1999年より同社チーフマネージャーを務め、2007年から現職。川を中心としたまちづくりに取り組み、日本水大賞国土交通大臣賞(H15)、経済産業省「ソーシャルビジネス55選」(H21)等に出選された。七尾の地域資源をつなぎ、地域の内外をコーディネートすることで、地域の課題解決、担い手育成に取り組んでいる。



ありた ゆきお 氏 富山大学芸術文化学部准教授、高岡クラフト市場街副実行委員長

富山県高岡市在住。京セラ(株)(1996~2005年)、日本電気(株)[2005~2014年、NEC カシオモバイルコミュニケーションズ(株)、NEC ビッグロブ(株)出向含]、法政大学デザイン工学部非常勤講師(2007~2010、2013~2014年)を経て、2014年4月から富山大学芸術学部准教授。2016年から高岡クラフト市場街副実行委員長を務め、大学のプロジェクト授業として運営に携わる。



くぼの たつあき 氏 八尾スローアートショー実行委員会 事務局長

富山県富山市在住。1980年八尾町役場に就職。2015年より富山市大沢野行政サービスセンター市民生活課長。八尾町時代の2004年~2010年、廃校となった校舎を利用し、地元住民と芸術家が交流し、アートショー等を行い、まちの新たな価値を創造するプロジェクトに参加。八尾の地域資源をみがき、地域の人々に希望の仕事を作り出すため、日々、画策奔走している。

